

【中学生】高校入試対策

高校入試対策のベースとなるものは、定期テストに向けた学習です。どの科目も、まずは1・2年生の復習をします。2年生の12月までには終わらせましょう。冬休みからは入試の実戦力を高めるトレーニングを行ってください。

英語

●入試のための実力アップ

① 高校入試 重要英単語 600

単語を鍛えることで、長文読解の力もついていきます。

② 英文法1～3年

教科書をはなれて、文法の重要事項を整理して学習します。

③ 基本文のまとめ1～3年

英作文の練習として取り組んでください。

④ 公立高校入試対策

入試形式の問題練習です。長文読解にもチャレンジできます。

●英語が得意でない人は

教科書準拠シリーズの「まとめ」を使ってください。

① 単語

「まとめ」の単語は、重要単語だけにしぼられています。効率よく単語の復習をすることができます。

② 基本文と英文法

「まとめ」で学習すると、例えば「肯定文」「否定文」「疑問文」がミックスされるなど、よりテストに近い形で練習ができるため、実力アップに効果的です。

③ 本文

「まとめ」で扱われている重要表現を重点的に思い出しておきましょう。

●国立・私立高校入試対策

公立トップ校以上のハイレベルな国立・私立高校を受験する場合には、「国私立高校入試演習」と「難関国私立高校入試演習」を利用してください。

数学

●入試のための実力アップ

① 1年まとめ、2年まとめ、3年まとめ

定期テストレベルの問題を、短期間に学習するときに使います。数学が得意な人は、「方程式」「関数」「図形」「確率」を中心に学習し、「計算」と「資料の活用」については『チェック』プリントだけの学習でいいでしょう。

② 公立高校入試対策A～C

全国の公立高校の過去問をベースとした、練習プリントです。A、B、Cの順に難易度が上がります。

●国立・私立高校入試対策

公立トップ校以上のハイレベルな国立・私立高校を受験する場合には、「国私立高校入試演習」と「難関国私立高校入試演習」を利用してください。

理科

●入試のための実力アップ

① まとめ（1年のまとめ、2年のまとめ、3年のまとめ）

定期テストレベルの問題を、短期間に学習するときに適しています。

② 公立高校入試対策A～C

全国の公立高校の過去問をベースとした、練習プリントです。A、B、Cの順に難易度が上がります。

●国立・私立高校入試対策

公立トップ校以上のハイレベルな国立・私立高校を受験する場合には、「国私立高校入試演習」と「難関国私立高校入試演習」を利用してください。

●理科が苦手な人、苦手な分野は

まとめで難しいと感じる人は、目標を「全範囲の学習」から、「少しでも解ける問題を増やす」ことに切り替えましょう。まずは「入門」（1年、2年、3年）で基礎を確認し、「標準」（1年、2年、3年）を使って少しでも解ける問題を増やしてください。

社会

●入試のための実力アップ

① まとめ（1年のまとめ、2年のまとめ、3年のまとめ）

定期テストレベルの問題を、短期間に学習するときに使います。

② 総合（歴史総合、地理総合）

まとめとは違った切り口で、広い範囲からの出題に対応する力を養います。

③ 公立高校入試対策A～C

全国の公立高校の過去問をベースとした、練習プリントです。A、B、Cの順に難易度が上がります。

●国立・私立高校入試対策

公立トップ校以上のハイレベルな国立・私立高校を受験する場合には、「国私立高校入試演習」と「難関国私立高校入試演習」を利用してください。

●社会が苦手な人、苦手な分野は

まとめで難しいと感じる人は、広い範囲の学習をいっしょに進めようとすることで、逆に何も覚えられないまま時間がたってしまう。そんなときは、「少しずつ着実に」進めるのがいちばん速い覚え方といえます。時間をかけずに覚えられる人はいませんので、毎日2～3単元を目標に、がんばって学習してください。時々、『チェック』プリントだけを続けて復習するのも効果的です。

国語

●入試のための実力アップ

① 文章読解（文章問題1、文章問題2、文章問題3）

テーマをしぼった文章読解プリントで、しっかり本文に基づいて考えて答えるトレーニングを行います。

② 文法（文法のまとめ）

入試に向けて、文法を再確認します。

③ 古文（古文のまとめ）

教科書で扱っている以外の作品を使って、入試のためのトレーニングを行います。